

多世代交流ふれあいセンター令和5年度第1回懇話会会議録

日時：令和5年7月13日（木）午後1時30分～

場所：多世代交流ふれあいセンター 学習室2

出席者（敬称略）

委員1号 江川、圀府寺、岡本、（生涯学習フロア）稲岡（市民活動オフィスフロア）

委員2号 長山（地域障がい者交流フロア）

事務局 多世代交流ふれあいセンター 山田、伊藤、中野

欠席 委員1号 松久、日下、委員2号 中田（シルバー活動交流フロア）

配布資料

- ・多世代交流ふれあいセンター令和5年度第1回懇話会次第
- ・長岡京市立多世代交流ふれあいセンター懇話会委員一覧
- ・令和4年度 多世代交流ふれあいセンターの利用状況（全体）
- ・長岡京市立多世代交流ふれあいセンター懇話会設置要綱

1. 開会

館長挨拶

2. 協議案件

①令和4年度施設の利用状況等について

事務局：令和4年度施設の利用状況等について対前年比の1.28という数字からもお分かりいただけるように、館全体の合計利用人数は前年度より7,277人増加した。これは、WITH コロナ社会の「新しい生活様式」の考え方が徐々に浸透したことで、コロナによる活動控えのあったものが緩和されてきたことが原因と考えられる。

②施設管理について

事務局：多世代交流ふれあいセンターの貸館業務は、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、利用人数に一部利用制限を設けていたが、令和5年1月27日以降は条件付きではあるものの利用人数の制限を撤廃して、定員通りご利用いただけるようになり、令和5年2月からは、施設利用者の名簿作成が不要になった。令和5年5月8日からは、新型コロナの感染症法上の取り扱いが「5類」に引き下げられたため、施設の開館ガイドラインを廃止し、マスクの着用を個人の判断に委ねることとなった。また、設置してい

たアクリル板を撤去し、ロビーの休憩スペースの使用制限を解除した。コロナ禍から日常に戻る方針ではあるが、手指消毒や換気など、基本的な感染対策は継続するので、ご協力いただきたい。

3.意見交換について

委員：センターの利用状況について、利用件数は利用件数の最大値と比較した方が分かりやすいのでは。

事務局：次回報告までに表現方法を検討する。

事務局：当館の現状をご説明する。

（改修について）

当館は、空調設備、屋上防水、交流室の天井改修等の大規模なものやバリアフリー動線の改修は終えており、現在は館内のLED化を進めている。また、エレベーターの設置が今後の課題である。

（医師会退去後の部屋の利用について）

令和4年5月末に医師会が退去した後の部屋は、市役所本庁舎の建て替えが完了する3年後まで、市の代替会議室として利用している。

（蜂について）

今年は、敷地内で例年になくスズメバチが巣を作っており、半月で6回程職員が巣を壊している。職員が巡回し、利用者に危険が及ばないように対策しているが、ハチを見かけられることがあれば、職員にお声掛けいただきたい。

委員：利用者がハチの被害にあったことはあるか？

事務局：昨年度、東側駐車場の雪柳にハチが巣を作っていると利用者からお伝えいただいたが、被害はなかった。ハチの巣作りは、梅雨明けには一旦収まるだろうが、秋にまた活性化し、その時はさらに狂暴になる。黒い色に反応するので、注意していただきたい。

委員：コロナの影響で、フレイルの進んだ多くの高齢者が施設に入所することになった。当館では様々な活動がなされているが、高齢者は紙でしか情報を得ることができず、ここでの活動内容を伝わっていないと感じる。何か高齢者に向けた情報発信はできないか？また、高齢者に向けてできることはないか？

委員：50～80代の方が参加する体操講座を実施しているが、こらさへのアクセスが大変そうだと感じている。

事務局：市として営利業態のものを積極的に紹介することは難しい。ただ、施設利用時に団体登録をしていただくが、その際に活動内容を公表するか確認しており、公表を希望する団体の情報は、問い合わせがあった際にお伝えしている。また、高齢者への取り組みは、2年後に完成する共生型福祉施設で集約して行うことになる見込みである。

委員：西山公園でのインクルーシブ公園構想があるが、当館は関わりがあるのか。
一体のものとして考えてほしい。

事務局：当館、西山公園、西山公園体育館は一体のものとして今後の在り方を考えて
いくものと思っている。

4.その他連絡事項

次第に記載の通りの日程で休館日等があるのでご参照いただきたい。

次回懇話会の開催は令和6年の2月中旬頃に開催予定であり、改めてお知らせす
る。本日はありがとうございました。